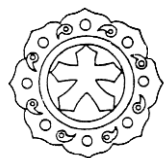


令和5年2月14日



キャッチフレーズ: 「花いっぱい 笑顔いっぱい 俳句で伸びる大丸小」

大丸小だより 2月号



学校ホームページアドレス【<http://www.minamikyushu-city.hs.plala.or.jp/oomaru-es/>】(QRコード)



もうすぐ春です。

校長 山口 美帆子

「梅白し まことに白く 新しく」 星野立子

この句の季語は梅で、「白梅が本当に白く咲いています。毎年同じものが咲いているけれど、今年も新しい気分で楽しめるよ。」という意味です。校舎裏の梅も咲き始め、少しずつ春に向かっていきます。

令和4年度も、あと1か月となりました。教室からはマスクをして、音読する声や九九を唱えたり話し合ったりする声が聞こえてきます。

校長室にも、月曜日、詩の暗唱をしに子どもたちがやってきます。担任の先生に「合格」をもらって来ますが、緊張するのとかうまく言えないときもあります。何回か言い直してやっと合格したときのうれしそうな笑顔は、自分の頑張りを実感する瞬間です。

私たち教師は、学びの基礎となる学習規律（例えば、教師の話をしっかり聞く、忘れ物をしないなどの学習ルール）や、今の学年で身につけなければならない基礎的・基本的な学習内容が確実に身につくよう指導に力を注いでおります。九九の学習を一つとってみても、「できる」ようになるまでには、辛抱強く繰り返し繰り返し練習しなければならず、子どもにとってはなかなか大変なことです。あまりの面倒くささに、「もういい」と思ってしまうこともあるでしょう。子どもたちが、途中で投げ出さないように、担任の先生方も一生懸命です。

さて、今年の大河ドラマは「どうする家康」です。徳川家康というと、様々なエピソードが知られていますが、家康が幼少期、今川義元の人質となっていた頃の「おごい教育」を知っていますか。義元は竹千代（のちの徳川家康）の才覚を見抜き、「こいつは末恐ろしいやつだ。いつか今川家にとって面倒な奴になる」と考えます。そこで、義元は竹千代の教育係をしている家来に「竹千代に『おごい教育』をせよ。」と命じました。

その家来は「おごい教育」つまり、見るに堪えないほど痛ましく残酷な教育を、その日から始めました。竹千代には粗末な食べ物しか与えず、一日中読み書き、武術、馬術をさせ、竹千代がくたくたになるまでしごき続けました。しばらくして義元は家来に「おごい教育」はどうなっているか尋ねます。家来が、竹千代への教育の一部始終を報告すると、義元は激怒します。そして、「食事は山の幸や海の幸あふれる贅沢なごちそうを好きなだけ与えてやれ。寝たいと言ったらいつでも、いくらでも寝かせてやれ。夏は暑くないように、冬は寒くないようにしてやれ。学問が嫌だというならやらせるな。何事も好き勝手にさせたらよい。そうすれば、大抵の人間はだめになるから。」と命じたといいます。

学校の教育活動と家庭での子育ては、方法はそれぞれ違いますが、どちらも目指すべきものは子どもの自立です。今の生活は便利で、欲しいものはすぐに手に入ります。何でも子どもの望み通りにさせることが本当に正しいのか。時には厳しく毅然とした態度で接したり、あえて我慢や苦勞をさせたり、立ち止まって考えさせたりすることも、子どもの成長には欠かせないことです。

子どもたちの暗唱に「甘い合格点」を出しそうになるとき、義元の「おごい教育」を思い踏みとどまるのです。



「ふるさと俳句カルタ大会」

1月25日(水)に大丸小のことが描かれた俳句カルタ大会がありました。4チームに分かれて、絵札をいち早く取れるように真剣な表情で巨大カルタを楽しんでいました。



版画指導

山口校長と同級生の元中学校の美術の先生である内門先生が大丸小学校の子どもたちに版画指導を行いました。彫刻刀の使い方などを教えてもらい、作品の仕上がりを楽しみました。



雪が積もったよ！

1月25日は、前日の雪が積もり、校庭が銀世界。子どもたちは、1時間目から雪遊びに大喜びでした。雪の上に寝そべったり、雪だるまを作ったりと寒さを忘れ、無我夢中で遊んでいました。



3月の主な行事予定

日	曜	主 な 行 事
1	水	C校時 P朝の交通安全指導
2	木	C校時 授業参観・学級PTA
3	金	大丸フェスタ PTA理事会 19:30～
7	火	SSW14:00～
21	火	● 春分の日
22	水	卒業式会場づくり
23	木	第76回卒業式
24	金	修了式・離任式

※ 卒業式関連行事は、学級通信で確認されてください。

※ 変更・中止等の措置があることを御了承ください。

入賞 おめでとう！

☆ 川辺ライオンズクラブ青少年表彰

学校賞 大丸小学校

個人 1年 中原 彩絢 2年 赤嶺 壮亮 2年 末永 和心
3年 桐木平 爽 4年 大坪 千春 4年 赤嶺 瑠夏
5年 桐木平 希 5年 松蘭 周平 6年 大坪 希

☆ 第24回虚子・こもろ全国俳句大会

学校賞 大丸小学校

特選 5年 桐木平 希「新米を にぎる母の手 真っ赤っか」

特選 3年 桐木平 爽「かおりまで 祖母からとどく マスカット」



俳句紹介

南日本新聞社掲載

「こども五・七・GO!」

一月二十五日

「お日様の きげんのいい日に

ふとん干す」

五年 松蘭 周平

なわとび大会・学校保健委員会

2月9日(木)に「なわとび大会」がありました。子どもたちは、いろいろな技にチャレンジしたり、音楽に合わせて調子よく跳んだりして堂々と発表できました。

また同じ日に「学校保健委員会」があり、歯に良い食べ物と食べ方について、栄養教諭の城戸内先生に講話してもらいました。

親子でこれまでの食生活について振り返ることができました。



新1年生入学体験・保護者説明会

2月3日(金)、来年度入学予定の2名が大丸小学校に来て、入学体験をしました。全校児童で歓迎をして、ゲームやぬりえ、学校探検などをして楽しく過ごしていました。入学式の日が待ち遠しいです。



現1年生がおもてなし



ぬりえにチャレンジ